

各教科等授業改善プロジェクト

2024. 〇〇. 〇〇

授業改善研修会 社 会

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局



0. はじめに...

共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」)の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 《取り入れたい場面》を意識した問題解決的な学びを行いましょう。
 - 教師は見守りつつ、適切な支援(意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意識した発問等)を行いましょう。
- ※子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

《取り入れたい場面》

- 自己決定 当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む
- 対話・交流 自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める
- 対話・交流 試行錯誤 失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く



発達状況に応じて、「自分で考え、決める」割合が増えていきます。

幼児教育施設

ポイント

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて、環境の構成をしましょう。

● 水遊びの場面(水遊びおもちゃ)



水が高いところから低いところに落ちる仕組みを利用した「くじらのおもちゃ」を用意して、見守ります。



子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができます。

教科学習の素地となる遊びが自然に行われます。

行事等



暮らしの思いを自由に表現する作品展



自治体と協働し手づくりの行事



生徒主体で校則を発見する生徒会活動



自分で事業所を見つけて決める職業体験



身近な地域づくりを目指す花植えボランティア

エージェンシーを発揮(自律した学習者)

小学校

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

● 1年算数「ながさくらべ」の比較の仕方について考える場面

友達の粘土と長さ比べた。でもかすと粘土が切れちゃう...



リボンや鉛筆等、比較に使える具象物を用意して、自由に使えるようにします。



子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。



総合的な学習(探究)の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。

中学校

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきます。

● 1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面



学習形態や学び方、解決の方法を生徒が選べるようにします。

自分は実際に実験をしてみたけれど、友達のように前に学んだ作図を使っても予想が合っていないと思うんだ。



様々な方法で考えたことを交流する良さや味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

総合的な学習(探究)の時間



体験や交流を通して課題を見だし学ぶ場面



仲間とともに考える場面



探究してきたことをアウトプットする場面

高等学校

ポイント

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

● 英語コミュニケーション1 課題について考察する場面

私たちの身近な地域の課題ってどんなことがあるかな?

Your Project To work on social issues around you and to give a presentation in English

私たちの町は高齢化が進んでいるよね。

実社会における課題を自分事化し、分析・考察した上で、具体的な提案・解決策を英語でプレゼンテーションする単元をデザインします。

ポイント

探究意欲(ワクワク感)を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

誰もが住みやすい町にするには、どうしたらいいかな?

Solutions To widen the road To pave gravel roads (weeds are +) To make a slope

町内



地域や社会を調べ、試行錯誤しながら課題の解決につながる提言をすることができました。

活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意欲を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

0. はじめに...

自分事化

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

《 取り入れたい場面 》



小学校

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

中学校

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

1. 令和6年度学校教育の指針

～確かな学力の育成～

教師が「～させる」授業から、**児童生徒が「～する」**授業へ

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

社会

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、課題を追究したり解決したりしている。

各教科等の指導の重点

- 児童生徒の考えの根拠となる資料を精選し、その資料から読み取らせたいことを明確にする。
- 児童生徒の考えを深める交流活動（伝え合う、考えを発展させる、合意形成に向かう等）を設定する。

授業参観の視点

- 「特に現れてほしい子供の姿」は現れていたか。
- 児童生徒の考察を支える環境づくりは妥当であったか。

昨年度の取組

○子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

○「思考力、判断力、表現力」を育むための教師のコーディネート力を高めましょう

✓ 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

太田中学校

世界の諸地域

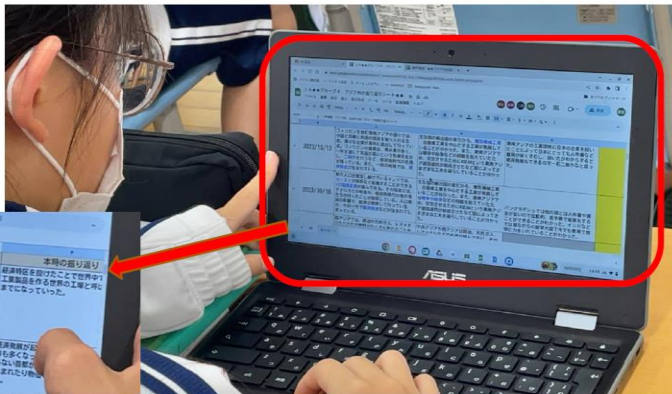
まとめる

追究する

つかむ

ア (ア)
世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。

・グループ共有の「振り返りシート」を基に、単元の課題解決に向けて積み上げを意識させた活動



アジア州の経済発展は、地域にどのような影響を与えているのだろうか

✓ 「思考力、判断力、表現力等」を育むための教師のコーディネート力を高めましょう (板書の工夫)

駒形小学校 (板書計画)

単元の課題の提示

「時間の経過」に着目

単元の課題
先人たちは、どのような工夫や努力をし、工業のまちをきずいたのだろうか。

め ばくげきを受けたあと、どのように再出発したのだろうか。再出発 どのように?

中島飛行機 → ばくげき

1945年
飛行機つけない
じゅう業員数 5万人→3200人
人々の生活が苦しい

1946年
人々の生活に役立つ
自動車会社につながる

技術を生かす
エンジン

見通し

「社会的事象の特色」に着目

～本日の内容～

- 1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針
～社会科の「特に現れてほしい子供の姿と重点」～
- 2 なぜこの姿が現れてほしいのか
- 3 「特に現れてほしい姿」を具現化するために
～本日の二つの授業と社会科指導の重点～

本日のまとめ

- 予想を基に学習計画を立てる活動を充実させましょう
- 資料や交流活動を活用して再考する機会を設定しましょう

1. 令和6年度学校教育の指針

～確かな学力の育成～

◎児童生徒が「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」中で、資質・能力を育成できるように、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進しましょう。

はばたく群馬の指導プランⅡ
はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用
Version

各教科等の目標に迫る 「主体的・対話的で深い学び」の実現

問題解決的な学習を充実させるICT機能
各教科等授業改善プロジェクト

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

エージェンシーを発揮する「自律した学習者」へ

授業デザイン

- 日常生活や社会と関連した単元・題材を構想する
- 問題解決的な学習、探究的な学習を重視する
- 自己決定、対話・交流、試行錯誤の場면을授業の中に取り入れる

児童生徒の学び方改善

- 児童生徒が自分たちで追究すべき課題を設定する
- 課題解決に向けて、あきらめずに繰り返し挑戦する
- 児童生徒が自らの学びを自覚できる振り返りをする

教師の役割の見直し

- 学習のゴールを共有し、伴走者として支援する
- 児童生徒が学び方を自己選択できる環境の整備をする
- 児童生徒の学びの姿を適切に見取り、フィードバックする

【個別最適な学び】

指導の個別化 学習の個性化

エージェンシーを発揮

【協働的な学び】

学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料（文部科学省）

日常的なICT活用

ICTを活用した家庭学習のススメ
家庭と学校の学びをつなげた授業の実践事例

「オンラインでも」地域の人的又は物的な資源を活用しよう
オンライン授業の進め方

1. 令和6年度学校教育の指針

～確かな学力の育成～

教師が「～させる」授業から、**児童生徒が「～する」**授業へ

特に現れてほしい子供の姿

社会

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、課題を追究したり解決したりしている。

指導の重点

- 児童生徒の考えの根拠となる資料を精選し、その資料から読み取らせたいことを明確にする。
- 児童生徒の考えを深める交流活動（伝え合う、考えを発展させる、合意形成に向かう等）を設定する。

社会科の授業に

自己
決定

対話
交流

試行
錯誤

がありますか？

2 なぜこの姿が現れてほしいのか

特に現れてほしい子供の姿

社会

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、課題を追究したり解決したりしている。

この姿は右のイメージのどの姿に当たりますか？

社会科の単元の学習過程イメージ

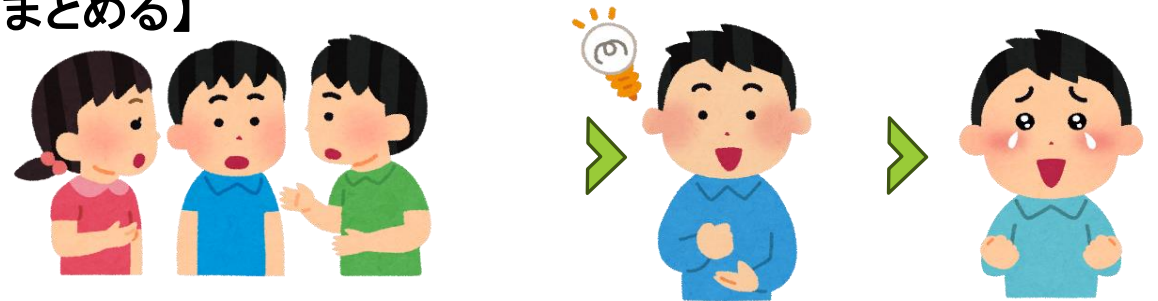
【課題をつかむ】



【追究する】



【まとめる】



2 なぜこの姿が現れてほしいのか

特に現れてほしい子供の姿

社会

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、課題を追究したり解決したりしている。



この姿の現れが、次のことにつながるから

- 社会科の目標に迫る（公民としての資質の基礎の育成）
- 社会的な見方・考え方が働く
- エージェンシーの発揮

しかし、この姿を生み出すのは容易ではない

社会科の単元の学習過程イメージ

【課題をつかむ】



【追究する】



【まとめる】



この姿を生み出すことが難しい理由①

特に現れてほしい子供の姿

社会

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、課題を追究したり解決したりしている。

この姿の現れが、次のことにつながるから

- 社会科の目標に迫る（公民としての資質の基礎の育成）
- 社会的な見方・考え方が働く
- エージェンシーの発揮

しかし、この姿を生み出すのは容易ではない

社会科の単元の学習過程イメージ

【課題をつかむ】

【追究する】

【まとめる】

この姿は、問題解決的な学習の一連の流れの中で生み出される

つまり、**学習過程を充実させることが大切**

- 児童生徒が、問題を見出すこと
- 児童生徒が、見通しをもって他者と協働して追究すること
- 児童生徒が、追究結果を振り返ってまとめたり、新たな問いを見だしたりすること など

→ どうしても教師が「～させる授業」になってしまいがちだった

1 単元のつくり方

社会科は、第1章の2で示すAパターン単元の構想が多くなります。「つかむ」過程では、児童生徒の課題意識から単元の課題を立てるとともに、追究内容や方法、学習計画を明確にさせます。そして、「追究する」過程では、明確な見通しのもと、各単位時間の追究活動を進め社会的事象についての「具体的な事実に関する知識」を習得させます。最後の「まとめる」過程では、各単位時間で習得してきたことを比較・関連させ、単元の課題の結論としての「概念等に関する知識」を総合的に導き出させます。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のポイント

過程と基本的な学習活動

つかむ

1 単元の課題を把握する。
 ◇社会的事象と出合い、疑問や調べたいことをもつ。
 ◇単元の課題を立てる。

【単元の課題】
 〈単元の目標に到達するための大きな問い〉

◇単元の課題について予想し、整理する。
 ◇追究内容や方法、学習計画を明確にする。

追究する

2 単元の課題の解決に向け、単位時間ごとに追究する。

単位時間

【めあて】
 ◇追究内容、方法を確認する。
 ◇必要な情報を集め、読み取る。
 ◇情報を基に考察する。

※社会的事象の (学級全体)
具体的な事実に関する知識の習得

【振り返り】(個人)

まとめる

3 単元の課題についてまとめる。
 ◇単位時間ごとに学習したことを基に結論について話し合う。

◇学習してきたことを基に、構想(選択・判断)する
 ※学習内容に応じて設定

〈単元のまとめ〉 (学級全体)
 ※社会的事象に関する**概念に関する知識の習得**

◇単元全体の振り返りをする。
◇単元全体の振り返り (個人)

重要：単元・単位時間のすべてに関わること
 ◇自身の学びや変容を自覚したり、次の学びにつなげたりできるように、学習の振り返りをさせる。

この姿を生み出すことが難しい理由②

特に現れてほしい子供の姿

社会

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、課題を追究したり解決したりしている。



この姿の現れが、次のことにつながるから

- 社会科の目標に迫る（公民としての資質の基礎の育成）
- 社会的な見方・考え方が働く
- エージェンシーの発揮

しかし、この姿を生み出すのは容易ではない



社会科の単元の学習過程イメージ

【課題をつかむ】



【追究する】



【まとめる】



この姿が生み出される「考察する」場面では、

教師のコーディネート力が問われる

- 児童生徒が、資料を基に何を考えればよいか
- 児童生徒が、どのように考えるのか（見方・考え方）
- 児童生徒が、考えをどのように深めるのか
- 児童生徒が、どのような結論を導くのか

- どうしても教師が「～させる授業」になってしまいがちだった
- 児童生徒が結論を自ら導いたり話合いに参加できなかったりした

単元の課題（本時のめあて）

調べた事実①

調べた事実②

調べた事実③

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察する

考え

話合い

黙って
いよう…

単元のまとめ（本時のまとめ）

3 「特に現れてほしい子供の姿」を具現化するために

児童生徒が「～する社会科授業」に転換するための

- 問題解決的な学習過程の充実
- 考察する場面を支える環境づくり

3 「特に現れてほしい子供の姿」を具現化するために

児童生徒が「～する社会科授業」に転換するための

- 問題解決的な学習過程の充実
- 考察する場面を支える環境づくり

児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 問題解決的な学習過程の充実

授業デザイン

- 日常生活や社会と関連した単元・題材を構想する
- 問題解決的な学習、探究的な学習を重視する
- 自己決定、対話・交流、試行錯誤の場面を授業の中に取り入れる

児童生徒の学び方改善

- 児童生徒が自分たちで追究すべき課題を設定する
- 課題解決に向けて、あきらめずに繰り返し挑戦する
- 児童生徒が自らの学びを自覚できる振り返りをする

教師の役割の見直し

- 学習のゴールを共有し、伴走者として支援する
- 児童生徒が学び方を自己選択できる環境の整備をする
- 児童生徒の学びの姿を適切に見取り、フィードバックする

【個別最適な学び】

指導の個別化

学習の個性化

エージェンシーを発揮

【協働的な学び】

[学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料（文部科学省）](#)

日常的なICT活用

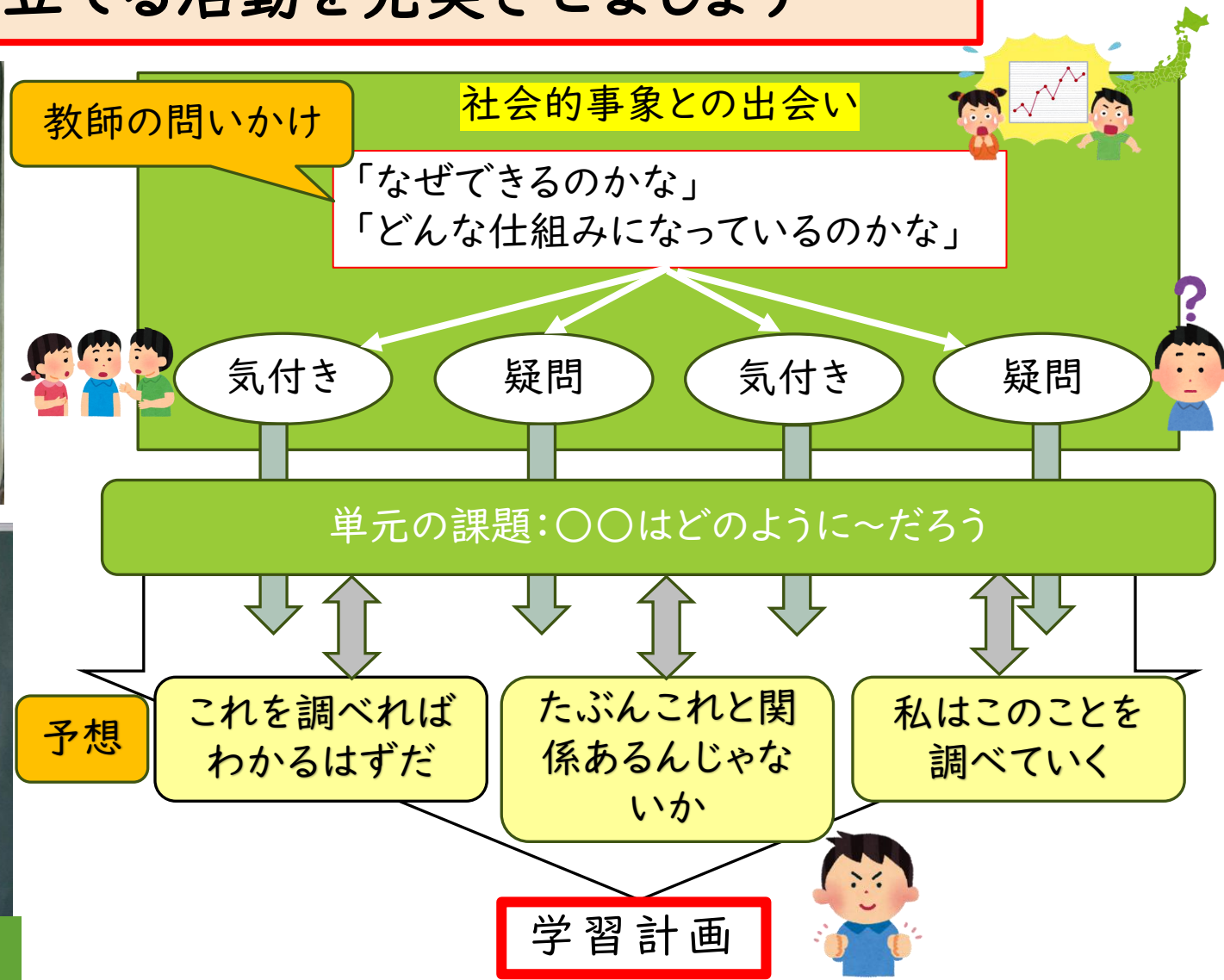
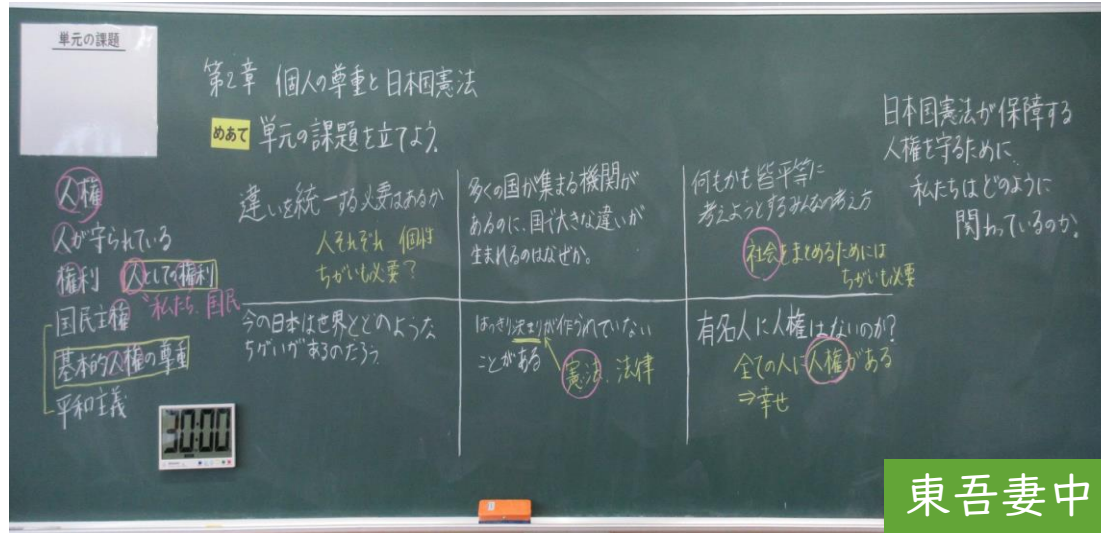
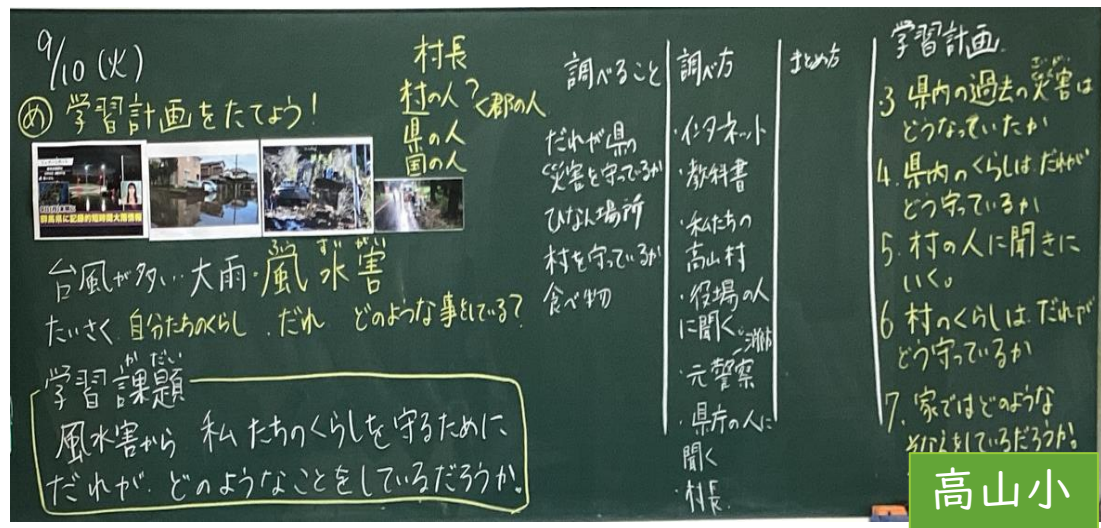
[ICTを活用した家庭学習のススメ
家庭と学校の学びをつなげた授業の実践事例](#)

[「オンラインでも」地域の人的又は物的な資源を活用しよう
オンライン授業の進め方](#)

児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 問題解決的な学習過程の充実

自己
決定

予想を基に、学習計画を立てる活動を充実させましょう



児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 問題解決的な学習過程の充実

自己
決定

予想を基に、学習計画を立てる活動を充実させましょう

例

県で過去に起こった災害調べ

風水害が多いな。今は被害が小さくなったな。

教師の問いかけ 「なぜ被害が少なくなったのかな」

防災施設
が増えた?

情報を得や
すくなった?

どんな仕組
みなのか

単元の課題：風水害から私たちの暮らしを守るために、
だれがどのような取組をしているのだろう

予想

県や国の取組
を調べれば分
かるはずだ

県のホーム
ページや村の
防災無線と関
係があるはず

役場を中心
に消防や
警察も……

学習計画

教師の問いかけ

社会的事象との出会い

「なぜできるのかな」
「どんな仕組みになっているのかな」

気付き

疑問

気付き

疑問

単元の課題：〇〇はどのように～だろう

予想

これを調べれば
わかるはずだ

たぶんこれと関
係あるんじゃないか

私はこのことを
調べていく

学習計画

児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 問題解決的な学習過程の充実


高山小

学習計画を立てる

学習課題(単元の課題)
につながる気づきや疑問

児童と教師が共に学習計画を
立てる(途中修正も可能)

9/10(火)
④ 学習計画を立てよう!



台風が多い...大雨・嵐・水害
たいさく自分たちから、だれ どのような事をしている?

学習課題
風水害から 私たちの暮らしを守るために
だれが、どのようなことをしているだろうか。

村長
村の人? 郡の人
県の人
国の人

調べること	調べ方	調べ方
だれが県の 災害を守っているか	インターネット	
ひな壇場所	教科書	
村を守っているか	私たちの 高山村	
食べ物	役場の に聞く	消防
	元警察	
	県庁の人に 聞く	
	村長	

学習計画

3. 県内の過去の災害は
どうなっていたか
4. 県内のくらしは、だれが
どう守っているか
5. 村の人に聞きに
いく。
6. 村のくらしは、だれが
どう守っているか
7. 家ではどのような
お話をしているだろうか!

学習課題(単元の課題)を基に、
調べることや調べ方等を考え、話し合う

児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 問題解決的な学習過程の充実

学習計画を立てる

前単元末: 日本国憲法の三大原則「基本的人権の尊重」
人権の具体: 平等権、自由権、社会権、参政権など

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全8時間: 本時第6時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
前単元末	<p>大単元の課題 日本国憲法が保障する権利を守るために、私たちはどのように社会に関わるべきか。</p> <p>・基本的人権の尊重に関わる憲法の条文を知り、小単元の課題と学習計画を立てる。(あ)</p> <p>小単元の課題 どうすれば私たちは「基本的人権の尊重」を実現することができるのか。</p>	←	←	○

基本的人権の具体をそれぞれ調べて、まとめる学習へ

学習計画

- 1 平等権
- 2 自由権
- 3 社会権
- 4 参政権等
- 5 責任と義務

児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 問題解決的な学習過程の充実

東吾妻中

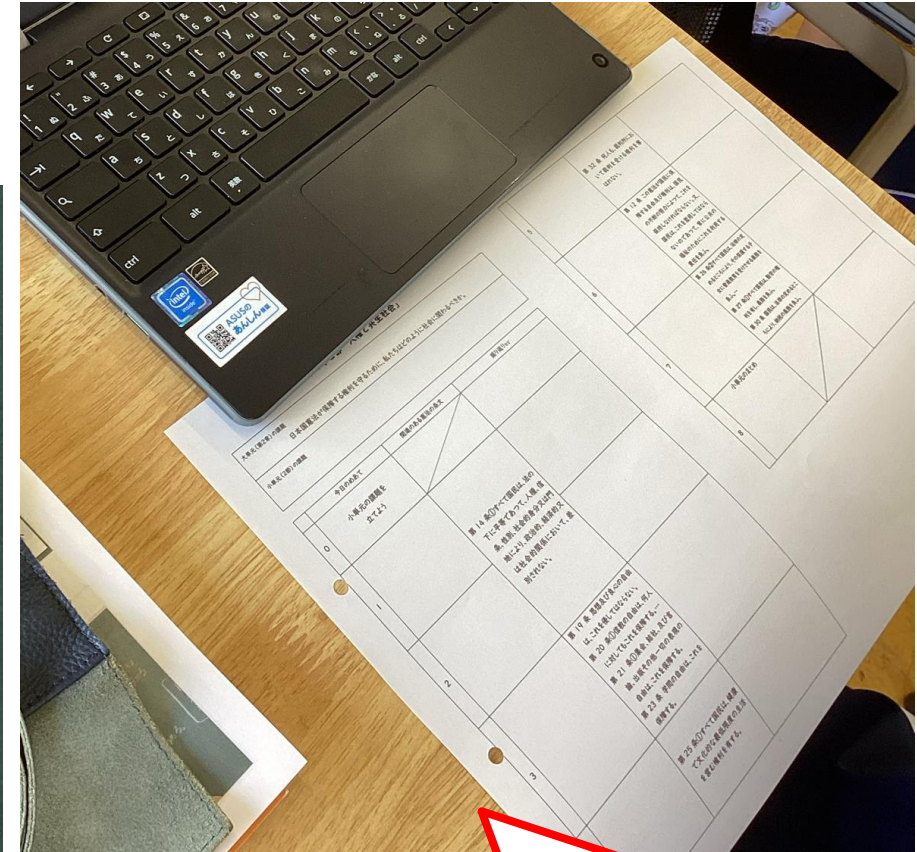
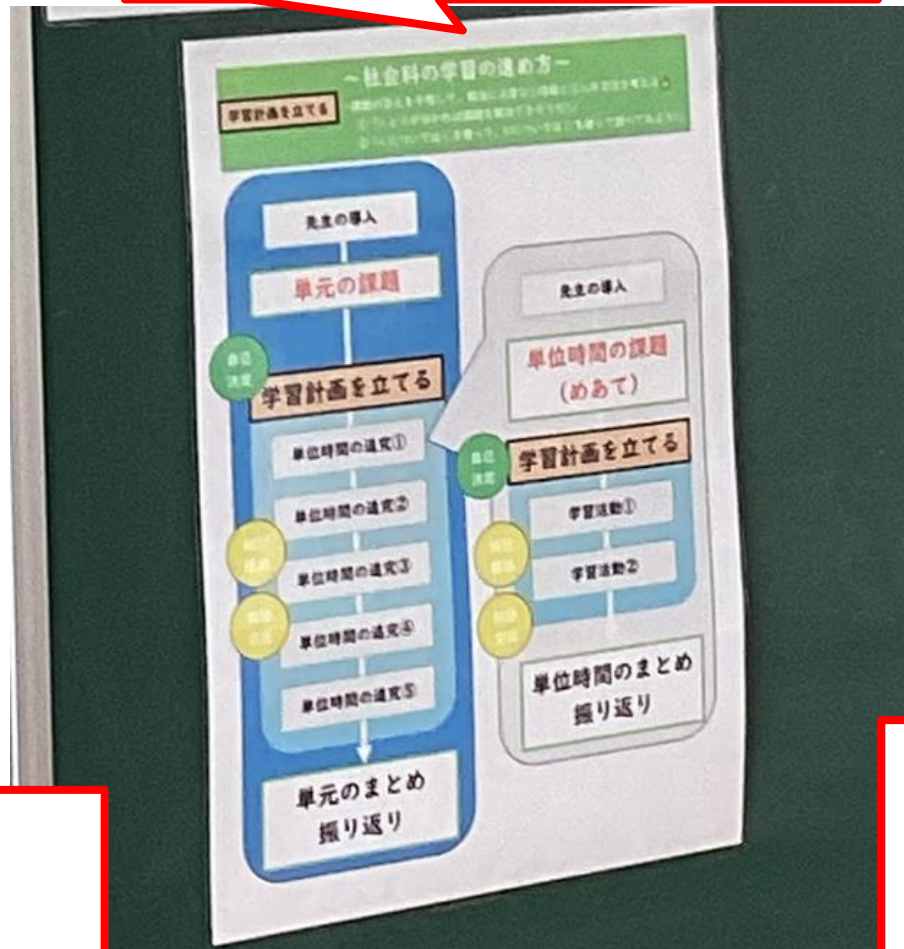
学習計画を立てる

大単元の課題
日本国憲法が保障する権利を守るために私たちはどのように社会と関わるべきか。

小単元の課題
どうすれば私たちは「基本的人権の尊重」を実現することができるのか。

大単元・小単元の課題を常時、黒板に掲示する

社会の学び方
(問題解決的な学習の流れ)を生徒と共有

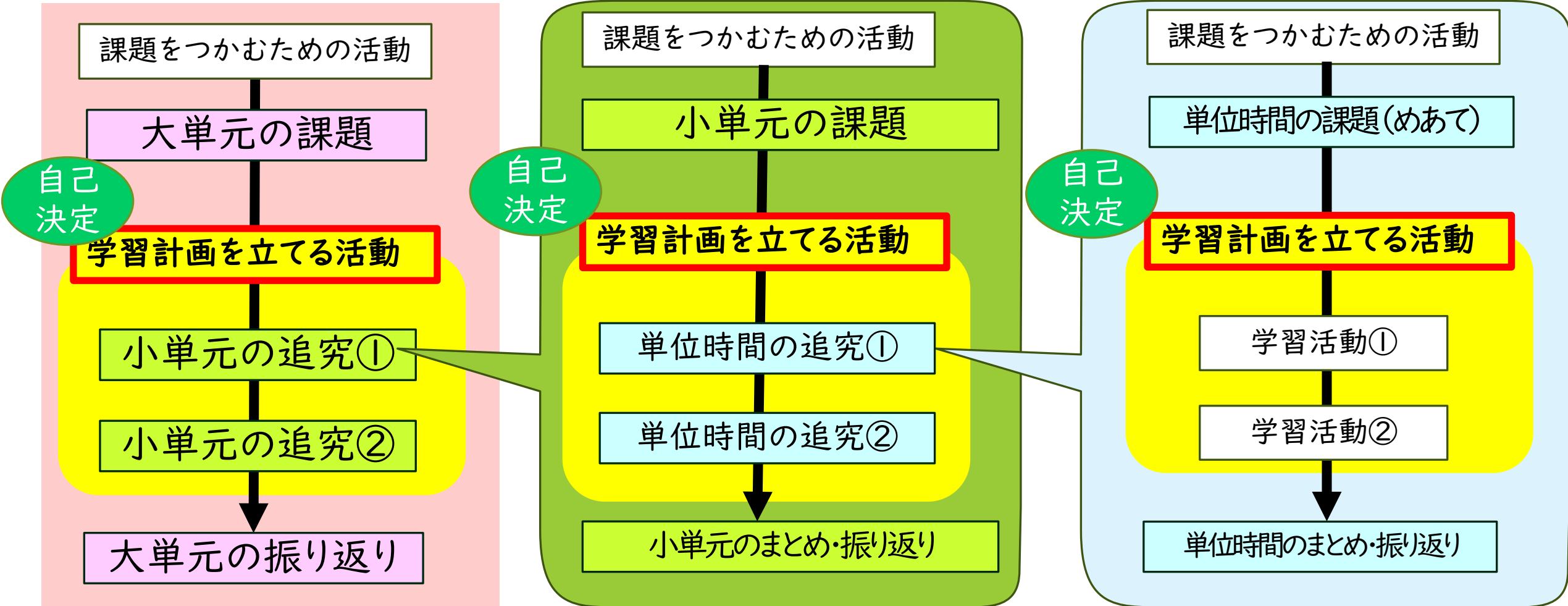


各時間の追究の見通しを持てるように小単元の振り返りシートを配布

児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 問題解決的な学習過程の充実

学習計画を立てる

…課題に対する**予想を基に**、解決に必要な情報と入手方法を考える



子供たちが自らの社会生活につながる内容のまとめ(大・小単元、本時の入れ子構造)を捉える

3 「特に現れてほしい子供の姿」を具現化するために

児童生徒が「～する社会科授業」に転換するための

問題解決的な学習過程の充実

考察する場面を支える環境づくり

児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 考察する場面を支える環境づくり

社会科における
考察する場面

社会に見られる課題

調べた事実

様々な社会的
事象を構成する
要素や側面
について考えること

多面的

意味

特色

相互の
関係

意義

多角的

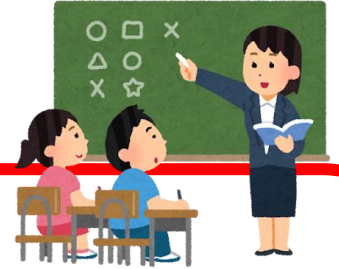
複数の立場や意見を
踏まえ考えること

諸資料から読み取れる情報を根拠とし、
社会的事象の意味や意義、
特色や相互の関係を
多面的・多角的に考察したこと

考え

諸資料から読み取れる情報を根拠とし、
社会に見られる課題の解決
に向けて考えたこと

結論（具体的な知識、概念的な知識）



児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 考察する場面を支える環境づくり

高山小

東吾妻中

自己
決定

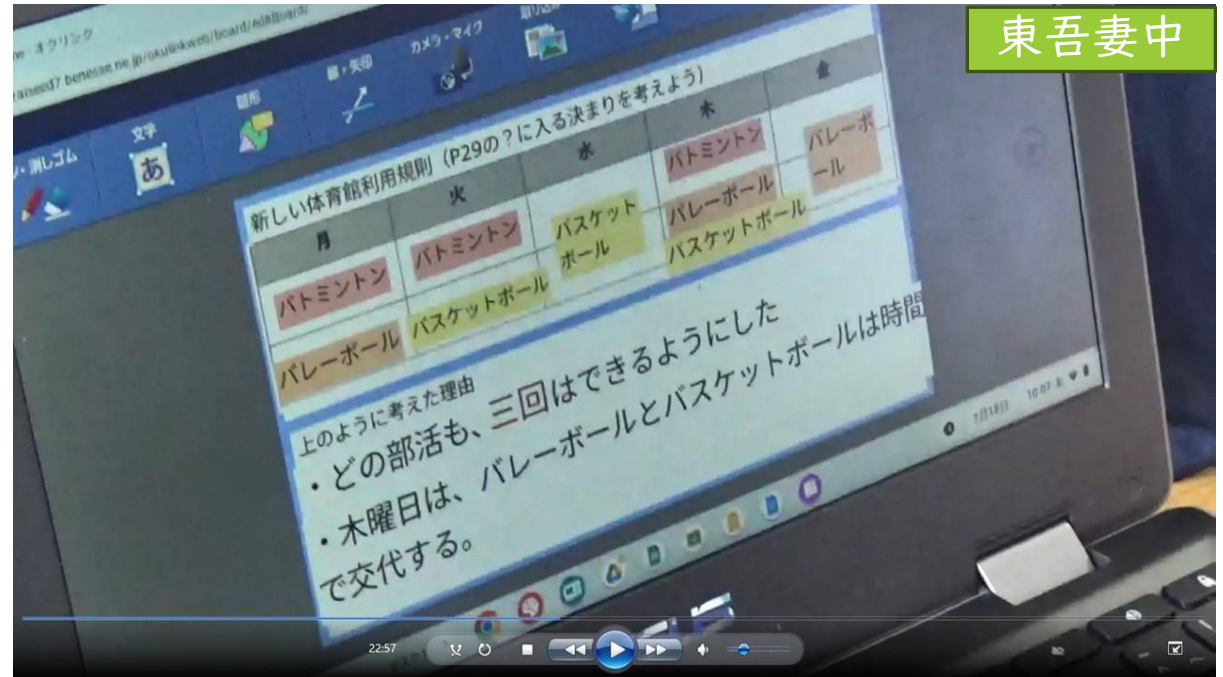
試行
錯誤

一人一人が集めた情報を基に考えをもてるようにしましょう

社会的な見方・考え方を働かせ、思考を補助する **枠組み等**を示したワークシート
例：地図、年表、図表、思考ツール等



風水害から暮らしを守る県や関係機関の取組を関係図に整理するシート



合意に向けて「効率と公正」の視点から、三つの部活の体育館利用規則について整理するシート

児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 考察する場面を支える環境づくり

高山小

試行
錯誤

資料や交流活動を活用して、再考する機会を設定しましょう

10/1 (火)

④ 高山村では風水害にそなえて、
だが、どのようなことをしているのだろうか。

⑤ 聞いてきた事。
役場が連絡をしている
さとのやにびちくがある。

⑥ 図に整理しよう!

⑦ 高山村では役場が中心となって、
県や地いきの関係場所と協力を
私たちの暮らしを守る仕組みを作っている。

大雨 台風

準備 そなえ

出動

高山村の人達の安全
24時間見守り
助けに向かう

小学校
中学校の
体育館

県から協力

安全な場所

食料
生活に必要なもの

私たちの暮らし

資料1

1947年(約80年前)
カスリーン台風

2019年
台風19号

なくなった方 6026 39,808
なくなった方 4名 112名

資料2

群馬県内の大きな風水害の災害規模について、約80年前と近年の二つの災害を並べて示した資料

役場を中心にたくさんの機関が協力して、ぼくたちの暮らしを守ってくれているんだな!



防災の仕組みが整えてきたからこそ、大きな風水害でも昔に比べて被害を減らせているんだね!



児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 考察する場面を支える環境づくり

東吾妻中

試行
錯誤

資料や交流活動を活用して、再考する機会を設定しましょう

大単元の課題
日本国憲法が保障する権利を守るために、私たちはどのように社会と関わるべきか。

小単元の課題
どうすれば私たちは基本的人権の尊重を実現することができるのか。

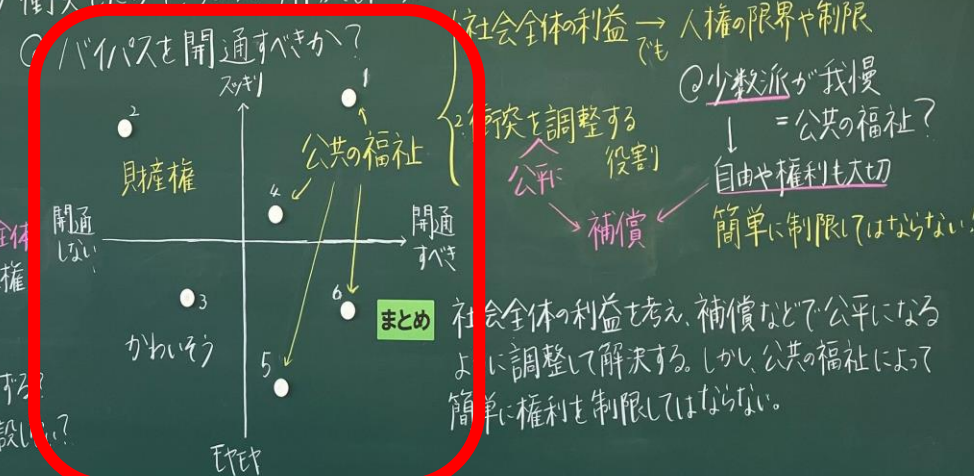


第12条
この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであって、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ。

第13条
すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他国政の上で、最大の尊重を必要とする。

公共の福祉

めあて 権利と権利が衝突したらどのように解決したらよいか。



資料1

座標軸上に整理されたバイパス建設に対する賛否



県道の渋滞緩和のためのバイパス建設は、多くの県道利用者から賛成されて「社会全体の利益」につながることだね。

バイパス開通に関する補償

- バイパスの建設予定地には25世帯の住民がいます。
- 住宅のみ (20世帯)
→住宅と宅地などを査定し、平均2000万円の補償を予定しています。
- 住宅と農地 (5世帯)
→住宅と宅地、農地、農家としての収益の損失分などを査定し、最大8000万円の補償を予定しています。

資料2

バイパス開通で立ち退く 住民への補償に関する資料

何が「公共の福祉」(社会全体の利益)なのかを考える上では、人権を制限される少数派の人への補償にも目を向ける必要があるね。



- 児童生徒の考えの根拠となる資料を精選し、その資料から読み取らせたいことを明確にする。
- 児童生徒の考えを深める交流活動（伝え合う、考えを発展させる、合意形成に向かう等）を設定する。

児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 考察する場面を支える環境づくり

資料や交流活動を活用して、再考する機会を設定しましょう

試行
錯誤



集めた情報を整理して考えをもつ

自分のタイミング



ペア等で読み取った情報の補完・修正

対話
交流



再考した結果、考えを修正する

自分のタイミング



グループ・学級全体で考えを発展させる

十分な時間の確保

- 児童生徒の考えの根拠となる資料を精選し、その資料から読み取らせたいことを明確にする。
- 児童生徒の考えを深める交流活動（伝え合う、考えを発展させる、合意形成に向かう等）を設定する。

児童生徒が「～する社会科授業」に転換する 考察する場面を支える環境づくり

資料や交流活動を活用して、再考する機会を設定しましょう

試行
錯誤



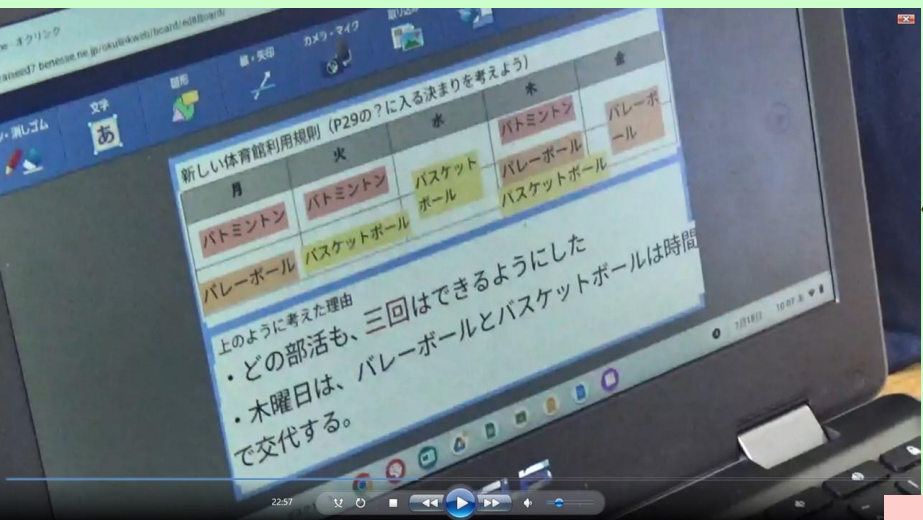
集めた情報を整理して考えをもつ

自分のタイミング

対話
交流



ペア等で読み取った情報の補完・修正



再考した結果、考えを修正する

自分のタイミング



グループ・学級全体で考えを発展させる

十分な時間の確保

授業改善による高山小学校の児童の姿の変容

社会

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、課題を追究したり解決したりしている。

5月



- 児童がめあてを立て、振り返りはしているが、学習の見通しはやや弱い
- 話合いでは、一人一人が教師に向かって説明する
- 一部の児童の発言を中心に学習をまとめる

現在



- 単元の課題とその予想を基に、児童が学習計画を立て、見通しを持っている
- 児童同士が必要感をもって、調べた情報や自分の考えを伝え合う
- 情報をICTで共有し、学級全体で話合う内容が焦点化

授業改善による東吾妻中学校の生徒の姿の変容

社会

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、課題を追究したり解決したりしている。

5月



- めあてや振り返りはあるが、課題意識や解決への見通しはやや弱い
- 教師の説明を聞きながら、ワークシートに重要な用語・語句を記入する
- 交流活動への必要感が低い

現在



- 大・小単元の課題と学習計画に沿って見通しをもって学ぶ
- 自分の考えを自分の言葉で伝えたり、グループで議論・合意形成したりする
- 考えをICT等で共有し、学級全体で話し合って概念的知識を導く

ま と め

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

社 会

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、課題を追究したり解決したりしている。

各教科等の指導の重点

- ・ 児童生徒の考えの根拠となる資料を精選し、その資料から読み取らせたいことを明確にする。
- ・ 児童生徒の考えを深める交流活動（伝え合う、考えを発展させる、合意形成に向かう等）を設定する。

授業デザイン

児童生徒の学び方改善

教師の役割の見直し

日常的なICT活用

社会科の目標に迫る児童生徒が「～する」授業に向けて

自分事化

自己決定

対話交流

試行錯誤

ぜひ明日からの授業で

- 予想を基に、学習計画を立てる活動を充実させましょう
- 資料や交流活動を活用して再考する機会を設定しましょう